

第 3 回 野田中学校統合準備委員会 会議録

| | |
|--------|---|
| 日時 | 平成26年8月21日(木) 19時30分～21時13分 |
| 場所 | 野田市民館 |
| 出席者 | 委員(19名) 河合熙人、河辺光利、白井正臣、秋山達夫、河辺禎人、鵜飼秀行、安藤佳世子、中村洋隆、河合知夜美、鈴木正次、河合克弥、河合睦子、河合隆志、鋤柄美保、藤江恵美子、本多邦彦、鈴木春美、花井 隆、大竹加納江 オブザーバー(1名) 鈴木嘉弘経営企画課長 事務局(7名) 前田教育部長、中村教育総務課長、三竹教育企画室長、山本学校教育課長、松井政策推進課副主幹、土井経営企画課副主幹、清水教育企画室主任 |
| 欠席者 | 林樹一郎委員、仲谷文子委員 |
| 傍聴者 | 7名 |
| 委員長 | あいさつ |
| 委員長 | それでは、早速、協議事項に入ります。 協議事項1 推進協議会について、第2回統合準備委員会で、PTA組織、役員数など学校間で調整できるものは進めていくという結論でした。 それを受けて教育委員会から説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料1-1、資料1-2により説明) ・推進協議会の設置について ・野田中学校統合準備委員会の協議内容 |
| 委員長 | 推進協議会や検討会で決定した内容は、必要に応じて、統合準備委員会で諮るなどをお願いします。 それでは、次に、(2)通学体制について協議します。 初めに市の経営企画課から公共交通の考え方、続いて教育企画室から統合に伴う通学体制・教育委員会としての考え方を聞きます。 それでは、経営企画課の鈴木課長、お願いします。 |
| 経営企画課長 | 私は野田校区のアドバイザーで、市役所の公共交通、公共施設の最適化などを担当する経営企画課に所属しています。 コミュニティ乗合交通の再編という資料を用意しました。 通学支援だけでなく、市内の公共交通をどういう考え方で確保、維持するのかを説明します。 野田校区に限ったことではなく、市内全域について、来年10月に公共交通の見直しのため各校区に投げかけていく資料になります。 (資料2-1により説明) |
| 委員長 | 引き続き、教育委員会から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 教育委員会から小中学校統合に伴う遠距離通学について説明します。 |

| | |
|--------|--|
| | (資料 2-2 により説明) |
| 委員長 | 委員の方からご意見、ご質問等がございましたらお願いします。 |
| 委員 | ぐるりんバスが野田校区の中を走るようになり、路線バスに乗り継ぐとの説明がありました。ぐるりんバスだと朝の時間帯は、子供たちが学校に間に合う時間には運行していないのではないですか。ぐるりんバスが馬草まで行くとしても、山ノ神、仁崎付近は親が送り迎えするか、自転車でバス路線まで出るしかありません。そうすると、冬場は朝も暗い時間になる。そういうところは、どのように考えておられるのか。 |
| 経営企画課長 | ぐるりんバスの運行時間帯は、基本的に朝 7 時半から夜 19 時台までで設定しています。野田に限らず、運行時間帯は、これから地域と相談します。 確かに、朝の時間帯は、例えば路線バスに 6 時 33 分に乗らなければいけない場合、ぐるりんバスを利用するのは厳しい。野田校区の中は 20 分ぐらいで巡回できるかもしれないが、出発時間などの具体的な運行計画を野田校区の方と一緒に考える中で、ぐるりんバスを通学に使える、使えないを判断したいと思っています。 バスを運行するには、大体 1 時間ぐらい前に乗務員が集合し、点検が必要となります。例えば朝 6 時に運行すると朝 5 時に集合することになる。人員確保、あるいはコスト面もあり、今後、詰めていく必要があります。 逆に、夕方は 19 時台の中でなら、その中で送る便はできるのではと思います。 おっしゃるとおり、運行時間の基本線は、朝は 7 時半スタートというぐるりんバスのルールがあるので、そこをどこまで応用できるかが課題になってきます。 |
| 委員 | 皆さん方に認識してもらいたい点があります。通学の中では、ぐるりんバスは公共交通機関の一つとして、使える部分があれば使うと認識してください。時間的な制約の中で、ぐるりんバスを路線バスにつないで通学には多分無理がある。 徒歩、自転車、路線バスと段階があるので、その中で路線バスが使えない部分は、スクールバスを出さなければならないということになる。 保護者からはスクールバスが第一という意見で、それも考えていく手段にはなるとは思いますが、徒歩、自転車、路線バスの段階があると考えていただいたほうがいいと思う。 |
| 事務局 | あくまでも遠距離通学における考え方は、自転車、路線バス、それでは対応できないときにはスクールバスということで考えていきたいと思っています。 |
| 経営企画課長 | 補足すると、野田校区の場合は野田で接続するものですから、路線バスの本線自体が、例えばキャパオーバーで乗れなかったらスクールバスで運ぶこともある。どこまで路線バスでカバーできるのか、またできないのかがあり、路線バスにつなぐ手順も、今、委員さんがおっしゃられたことの一つだと思います。 |
| 委員 | 教育委員会の遠距離通学の資料のうち、3 番目ウの、「徒歩・自転車・路線バス等による通学ができない場合」には「通学へのスクールバス対応」とある。それでは「徒歩、自転車、路線バス等による通学ができない場合」とはどのようなことか。 |
| 経営企画課長 | これはスクールバスに限らず、公共交通のルールとして決定したことです。教育委員会は教育委員会の考えがあると思います。公共交通のルールから言えば、 |

| | |
|--------|---|
| | <p>「徒歩、自転車、路線バスによる通学ができない場合」は、物理的に乗れない場合です。60人の定員のところに、あと80人の乗車は物理的に無理な話です。</p> <p>それから、今の路線バスの運行時間は高校生の通学中心になっています。今のところ、高校生が一番のお客さんですので、時間帯が余りにも大きく変わってしまう運行は難しいので、例えば時間帯が合わない場合です。乗り切れない場合と、その時間では行けない場合は、路線バスは使えないことになります。</p> |
| 委員 | <p>数字的に見ると路線バスでかなりのものが運べると思います。自分の家からバス停までを、ぐるりんバスで通学するのは時間的に無理だと思います。家から路線バスの野田のバス停、仁崎のバス停、そこまで自転車で行くとなると、全部可能になってしまう。だから、その時間短縮をどのようにするかを皆さんが心配していると思います。</p> <p>野田からバスで10分少し、それから徒歩で15分、そうするとそこで25分かかる。仁崎から野田まで、山ノ神から野田のバス停まで行くと、そこでまた15分、20分かかってしまう。全体の通学時間を少しでも短くして負担を少なくするという中で、皆さん方は多分スクールバスを出してほしいとなる。そこら辺も、どのようにしていくかということだと思います。</p> |
| 事務局 | <p>そのあたりが、これからの課題だと思います。</p> <p>皆さん方の意見をお聞きし、その辺が一番話し合うところだと思います。</p> |
| 委員 | <p>通学に関する優先順位として、路線バスを使うのはわかりますが、目の前がバス停の子もいますし、遠い子ですとバス停まで約15分かかり、トータルで1時間近くかかってしまう。朝練がある場合、朝7時半に田原中に集合とすると、単純に6時ごろには家を出る可能性もあり、5時台に起きて、冬は朝、暗い中を走って行く形になる。PTAとしては、1時間近く通学すると子どもにかなり負担がかかると思う。家からバス停、市役所前の萱町から約15分も歩いて行くのが、中学校だとかばんパンパンで自転車に乗せていくので、バスをおりて、また中学校までその荷物を持って歩くのもかなり負担になる。</p> <p>路線バスが博物館のところまで回ってもらおうとか、なるべく近くまで行ってくれると多少時間短縮にもなるので、路線を変えるのは難しいかもしれないですが、朝の何便かだけでも路線変更できれば少しでも負担が減ると思う。野田の中でも家の場所によって個人差がかなり出てくると思いますので、平等に考えて、なるべく負担がないように、一度検討していただけると助かります。</p> |
| 経営企画課長 | <p>中学生で、部活をやられる方で例えば自分を鍛える、健康管理、体力強化ということで、自転車通学するケースは考えられますか。</p> |
| 委員 | <p>スクールバスを出しても、男の子でも、女の子でも自転車でいきたい子はいると思うし、それは個人の自由だと思います。</p> <p>家から自転車で15分かけてバス停まで行き、バスに15分乗り、バス停から学校まで歩くというのがどうなのか。子供がどこまで負担に思うか。通学は30分ぐらいが理想のように、僕らでも通勤に1時間かかるとかなり負担に思う。PTAは、かなり不安を感じています。</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>実際に自転車で行きたい子もいるとは思いますが。一概に全部スクールバスを使うということはないと思しますので、涼しい時期だけ自転車で行きたい子もいるし、雨の日だけスクールバスを使いたい子もいる。</p> |
| 委員 | <p>路線バスの路線変更について、検討の余地はあるか。</p> |
| 経営企画課長 | <p>昨日、豊鉄バスで今年度事業の打ち合わせをする中で、路線バスの路線変更も議題としました。ただ、これは教育委員会からも既に投げかけはされていますが、すぐに結論がもらえるものではないとのことでした。</p> <p>協議する中で、三つのうちどれか決めたいと話をしました。</p> <p>一つ目、いろいろな面から決定的にだめなのか。</p> <p>二つ目、できるとは保証できないが検討すれば可能性があるもの。</p> <p>三つ目、乗車する人がいればやれる。この三つで判断すると、二つ目の「検討します」とのことでした。</p> <p>それから、全体の協議が進まないの、期限を聞かせてほしいと話をしました。</p> <p>バス路線変更の場合は、事前協議、あるいは時刻表変更などの周知を図るため、平成28年4月に合わせるのであれば、県の協議会などの手続も必要になるので、1年前の平成26年度中に話が詰められればできる可能性はあるとのことでした。</p> <p>路線の変更について、バス会社としては、検討段階ですが、例えば消防署から博物館へ行って、はなとき通りを通過して三河田原駅へ向かうと、ほかのお客さんも乗っているの、それは非常に厳しい。もしほかのお客さんに、仮に駅へ行く人は1便目に乗ってくださいと言っても、そうでない人も乗ってしまい、乗り過ごしてしまう可能性があるの、できたら、一旦、今の路線で三河田原駅まで行き、そこから博物館まで戻って田原中の近くが終点になる形にすれば、ほかのお客さんに迷惑が一番かからないので、手続がしやすいと現段階で豊鉄バスの方は言っていました。</p> <p>それから、3両にすることについては、朝が一番需要の高い時期で、運営上の問題にかかわり、1人雇用することにより全体のコスト増となり、またバスの運転手確保も厳しいので、検討するとのことでした。</p> <p>それから、普段は自転車通学で雨の日だけバスに乗りたい場合に、「雨の日だけ定期」の検討は難しいとのことでした。</p> <p>他の方法として、例えば雨の日は、市が高齢者にバス券かタクシー券を選択できる券をお渡ししているように、例えば回数券を発行して、年間何日ぐらい標準的に雨が降るということで、ある程度枚数を決めて発行するという方法もあるのではないかと豊鉄バスでは言っていました。</p> <p>今後、先ほどの3両にするとか、近くまで回すことも、実際、どれぐらいの方が利用していただけるか、沿線の方もいれば沿線でない方もいて、一部はスクールバスになってしまうかもしれないし、あるいは、自転車になるかもしれない。どれぐらいの利用者数があるかはっきりしないと具体的な検討は進めにくく、豊鉄バスとしては、収支を見て、平行して詰めていきたいということでした。</p> |
| 委員 | <p>通学に関し、親の負担が一番問題になる。今の時代は、女性も働く時代になってき</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>た。そうすると、原理原則ばかり言っているのではなくて、野田地域全体の活性化を図るように、どのように考えたらいいかということがポイントだと思います。</p> <p>一番問題なのは、野田へ住んでもらう形をつくっていかないといけない。親御さんの負担をいかに解決できるか。だから、教育委員会でもスクールバスという手法を考えているわけで、そこを中心に議論をしていかないと、経費は、その後、考えていくべきではないか。先ほど、課長さんのお話を聞いていると、経費のことばかりで、地域のことを少しも考えていないように聞こえます。</p> |
| 事務局 | <p>教育委員会の通学に関する考え方は、資料にあるように、まずは徒歩、自転車。次に公共交通機関、使用できれば、ぐるりんバス。最終的に、対応できない場合にスクールバスを考えると説明しました。</p> <p>最初からスクールバスを考えるのではなく、まずいろいろ考えた上で、最終的に、対応できない場合にはスクールバスを出すと思ってください。</p> |
| 事務局 | <p>先ほど、家からバス停まで徒歩または自転車で行って、バスに乗って、またバス停から学校まで行くと負担になるという話でした。例えば自宅からバス停までの距離はどれくらいが許容範囲ですか。</p> <p>あと、全体の通学時間は、1時間ならいいのか、40分ぐらいまでならいいですか。</p> |
| 委員 | <p>個人的な意見では、家からバス停までは、皆さんの感覚が違う。</p> <p>例えば住んでいる地域の公民館がいいという親御さんもいらっしゃいますし、今は自転車で通学しているので中学ぐらいだったらという考え方もある。そこから路線バスに乗るということでもいいと思う。家からバス停まで徒歩や自転車で行ってバスに乗りかえ、田原の中心部からまた歩くという3段階の手段をとって行くことが、雨の日や冬場の暗いときは大変だと思う。</p> <p>家からバス停まで近ければいいですが、近い人ばかりではないので、先ほど言われたようにバス停が博物館周辺になれば交通手段が二つで済むので、徒歩が短くなれば、家からバス停までの距離が多少長くなっても考えられると思う。</p> |
| 事務局 | <p>全体の通学時間の理想はどれぐらいですか。</p> |
| 委員 | <p>資料を見ても、田原中まで遠いところで9.5キロ、一番短いところは5.5キロと差がある。</p> |
| 事務局 | <p>今までの中学校より通学時間が長くなるのは確かなことです。</p> <p>先ほど、1時間と意見がありましたが、どれぐらいまでならいいですか。</p> |
| 委員 | <p>当然、短ければ短いほどいいが、30分ぐらいが理想ではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>田原中学校の通学時間はどうですか。</p> |
| 委員 | <p>田原中学校では、大久保地区の1年生では、自転車で30分ぐらい。光崎からは、距離とアップダウンもあるので、1年生の初めは40分くらいかかっている、三、四十分が上限と考えて、通学時間を考えてください。</p> <p>1月、2月の冬の部活動は、その前後を含めて朝の部活動は全くやっていません。11月、2月はテストやインフルエンザなど、無理してやらないことになっています。秋は、4時半下校で、グラウンド一周回って終わりということもあります。</p> |

| | |
|--------|--|
| | 田原中は短い時間で部活動をやっていますので、夏でも最長で 6 時 15 分下校です。 |
| 委員 | <p>確かに大久保の子が自転車で通学し、隣を野田の子がバスで行く可能性も考えられます。片道 6 キロ以上は通学支援するとなっているので、議論を進めたいと思います。</p> <p>自転車で行く子は自転車で行ってもらって、大久保の子と比較される部分は当然あると思いますが、6 キロ以上ということが大きいポイントになるので、それも含めて P T A としては考えていきたいです。</p> |
| 委員 | バスの乗車率について、座席数と定員の比率ということで、立っている人も数えるのですか。その辺の割合を教えてください。 |
| 経営企画課長 | <p>先ほど説明した資料に、定員 70 名のバスが座席では 38 席ですので、32 名は立っても乗ってもらえるというのがバス会社の計算です。バスに 50 人近く乗っていると、とても窮屈な感じがします。そこまで乗れると言うつもりはないです。</p> <p>朝の続行便にも 38 席、34 席のものと大きさもいろいろあります。また公共交通モラルを高めていく必要はありますが、中学生の荷物は大きいので、ある程度、実態を見た上で考えていかなければいけないと思っています。</p> |
| 委員 | <p>乗車率 100% はまずないですね。</p> <p>乗車率は 70% ぐらいでいっぱいだと思います。</p> |
| 経営企画課長 | 乗車率 100% はないです。私が頻繁にバスに乗車している感触では 70% ぐらいでいっぱい感はあると思います。 |
| 委員 | 自転車通学のことです。南部小学校の横を抜けて田原方面を走っていくと、歩道が狭く、外灯が少ないと感じます。自転車通学を希望する子も多く出ると思いますので、歩道や外灯の整備を考えていただきたい。 |
| 事務局 | 通学方法がある程度確定した段階で、通学路の整備はやっていきたいと思っています。 |
| 委員 | 市として工事をやるに当たって予算計上しなければいけないと思いますが、工事担当課と話を進めていますか。 |
| 事務局 | <p>まだです。大久保から田原中学校までは自転車通学ですので既に整備されています。ただ野田から大久保の通学経路に関して、外灯や横断歩道をどこにつけるか、歩道をどう整備していくかはこれからになります。</p> <p>また国道と市道と整備する管轄が違いますので、確定した段階で要望していきます。</p> |
| 経営企画課長 | <p>きょうは、今後の公共交通体系についての説明で、経費削減ばかりではないことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>もう一つは、P T A、地域の皆さんで現在の状況をもとに、もう一度整理していただけるとありがたいです。通学が路線バスでも可能な地域、自転車でも可能な地域、スクールバスでないと通学不可能な地域など、いろいろなケースが出てくると思います。また私どもとしては、いろいろなご意見をいただいている中で、市では直接、整理できない問題も多いので、市で確認してほしいことについて皆さんから早めに情報をいただければ、次回までに調整や調査ができると思います。</p> |

| | |
|--------|---|
| 委員長 | 次回に向けて、委員の皆さんから調査依頼したい事項がありますか。 また、逆に事務局から委員の皆さんに対して依頼事項があればお願いします。 |
| 委員 | 仁崎の子が田原中学校に通う場合の経路は、今の案ではどうですか。 |
| 事務局 | 例えば、路線バスを使うと、仁崎口まで自転車で来てもらい、そこで路線バスへ乗り、市役所前で降りて、それから歩いて中学校へ行くというケースになります。 |
| 委員 | では、山ノ神の子たちはどうなるのか。先ほど私は田原中校区の子は最長40分ではないかと言いましたが、子どもによっては待ち時間も考慮すれば1時間かかることもあり得るのかなと思いました。 |
| 委員 | 白谷の通学はどうですか。 白谷でも、ぐるりんバスの見直しがあると思います。 |
| 事務局 | 童浦小学校へはスクールバスで通学し、田原中学校へは自転車通学です。 |
| 経営企画課長 | ぐるりんバスの見直しについては、童浦校区と今後、調整します。 基本ルールは先ほどと一緒です。童浦校区には本線・支線はないので、ぐるりんバスに乗車可能なら、ぐるりんバスに乗っていただくことになります。 |
| 委員 | ぐるりんバスが来るわけですね。 |
| 経営企画課長 | 童浦校区の中のぐるりんバスは、童浦校区として路線を考えていただきます。 |
| 委員 | 例えば、江比間の子が馬草から乗る、仁崎の子は多分、白谷からぐるりんバスに乗ると思います。 |
| 経営企画課長 | 白谷から童浦小学校を経由して、田原の中学校まで行く方法もあります。 ただ時間もかかり、まちなかで停車するポイントは図書館、セントファール、三河田原駅、渥美病院の4カ所です。そこから田原中学校に行くと、果たしてそれを選択するかというのは出てくる。 今までは別路線になっていましたが、童浦校区では校区の中にぐるりんバスの路線を走らせるメリットもありますので、校区内の行き来も子どもを含めてできるので、同じルールでやっていきますが、中学生は自転車で峠を越えて通学してます。 |
| 委員 | 時間はかかるが、白谷まで行って、どこでおりるかは別としても、ぐるりんバスに乗ることは可能ですね。 |
| 事務局 | ただ、童浦校区のぐるりんバスは童浦小学校までの通学時間帯でしかつくっていません。例えば、学校の朝練には間に合いません。 渥美病院の診療開始時間に間に合う時間帯になっている状態です。まだ童浦校区で検討していないので、考え方は一緒ということだとどめていただきたい。 |
| 委員長 | では、次回に向けて、委員の皆さんから整理してほしい内容がありますか。 また、逆に事務局から委員の皆さんに対して依頼事項があればお願いします。 |
| 委員 | 先ほども言いましたが、バスを降りてからが重要だと思います。 そちらを何とかしてくれれば、野田からバスで通学することは何とかなる部分もあると思う。バスを降りてから歩くと、三つの手段で行くことになり負担になる。その負担軽減をしてくれれば、まだ自転車で野田のバス停まで行くことは、多少はいい |

| | |
|------------|--|
| | <p>いと思いますが、それが本当にできるのか。路線変更できないならできないと言ってくれたほうがいい。</p> <p>検討してできない場合もあるので、いつの段階かという点も気になります。</p> <p>確かに難しいことだとは思いますが、検討してダメなら、また違う方法を考える必要もあると思います。</p> |
| 経営企画 課長 | <p>実際に乗車する人数はどれくらいですか。</p> <p>利便性が上がるならバスに乗るのか、例えば仁崎の子でも自転車で来るのか。そういうところはいかがですか。</p> |
| 委員 | <p>全体で集まって話を聞いただけなので、今回の話では、バス停前の子と、仁崎などの子では親の考え方も全然違う。野田の中でも地区ごとで考え方が違うと思う。</p> |
| 経営企画 課長 | <p>ある程度、ボリュームを絞らないと、こちらもバス会社と話をするのは難しいです。</p> <p>また、アンケートと言っても、先ほど校長先生がおっしゃったように、生活実態などを皆さんがわかった上で、ある程度、シミュレーションできる情報を出さないと難しいと思います。</p> |
| 委員 | <p>保護者はスクールバス優先で考えているので、いきなり路線バスでということは、私たちが立場的に言いにくい部分があります。早めに一度 P T A で検討します。</p> |
| 経営企画 課長 | <p>ある程度、その結果をお待ちしてもいいですか。</p> |
| 委員 | <p>この場では返事できないので、一度 P T A で集まってから連絡します。</p> |
| 委員 | <p>これは、ずっと続いていくことなので慎重にしてもらおうようにお願いします。</p> |
| 経営企画 課長 | <p>バス会社も、すぐという話でもないので、状況報告だけでもいいと思います。</p> |
| 委員 | <p>保護者はスクールバス優先なので、同時に進めなければいけないと思います。</p> |
| 事務局 | <p>教育委員会の通学方法の考え方は、まずは徒歩・自転車、それから路線バス、公共交通機関、最終的に使えない場合にはスクールバスという順番で考えていきます。</p> |
| 委員 | <p>その順番では、スクールバスの可能性はなくなりますよ。</p> |
| 経営企画 課長 | <p>そういうことはないと思います。先ほど言った路線バス、公共交通機関を利用できない理由、例えば仁崎の子たちは行けないなどが出てくる。</p> <p>そういうものが積み重なっていくことで整理できる。</p> <p>最初から路線バスの利用をゼロで教育委員会も考えていないし、我々も考えていない。先ほど言ったように、現在のバス乗車率から見て80人乗れるかといったら、それは乗れないと私も思っています。</p> <p>ただ、バスを降りてからの距離の問題は、あくまでも残りますが、バス停近くの子たちだけでも乗ったほうが、帰りは便数も多く、いろいろな意味で便利ではないのかという部分もあります。</p> |
| 委員 | <p>今まで野田中学校まで自転車で通学していたので、バス停まで自転車で行けない可能性はないし、3番目のスクールバスにする場合を考えられないと思う。</p> |
| 経営企画 | <p>物理的に今、80人はバスに乗れません。</p> |

| | |
|------------|---|
| 課長 | |
| 委員 | それを増便するとか。 |
| 経営企画 課長 | 増便できるかどうかということです。 朝だけの増便はバス会社には負担です。 |
| 委員 | スクールバスの可能性はありますか。 |
| 事務局 | 野田校区全部ではないかもしれませんが。 |
| 経営企画 課長 | 路線バスの方が便利だと思う方は、そういう選択もあるのではないかと思います。 最初からスクールバスの可能性をなしで考えてはいないです。 |
| 委員 | 野田中学校まで自転車で通学すると、スクールバスを出す可能性はなくなってくる。 |
| 事務局 | 全員をスクールバスで回っていくと、時間がかかります。 |
| 委員 | 今から議論していけばいいことだけれど、仮に芦、山ノ神、仁崎をスクールバスでどのように回って、どのようにしていくかという、今度はそこに不公平感が出る。 |
| 委員 | 自転車でどこかまで来て、スクールバスでそのまま学校に行けると、そういう意味で負担は少なく、スクールバスにメリットがある。 |
| 委員 | 仮に、スクールバスを通しても、どこまで迎えに行くかというのもあります。 路線バスと同じように、便をふやすことも考えられるし、仁崎の集会所から市役所のバス停とか、田原中学校の前まで行くなら、みんなそれに乗るのではないか。 |
| 委員 | どのぐらいの割合で生徒は朝練をしていますか。 |
| 委員 | 1 学期は 8 割以上が来ています。 例えば朝練の時期や時間は、月曜日は朝練はやりません。火、水、木、金はありません。部活動は土曜日もあります。月曜日にも部活がある日とない日と 1 週置きぐらいです。あとは、例えばテスト週間は部活がないため帰宅時間が 4 時になる。テスト日は給食なしで帰ります。 中学生はテストのときは早帰り、テスト週間だと部活はなくなる。そこら辺にバスが絡んできます。自転車や歩きだと終わればすぐ帰れるが、バスの時間も関係してきます。 |
| 委員長 | ありがとうございました。きょうはこれぐらいにして、次回は、スクールバス、路線バス、自転車通学もあるので、皆さんも、自分の考え方を整理して、第 4 回統合準備委員会に臨んでください。協議事項 2 は、以上です。 協議事項 3、その他について、いかがですか。 特にないようですので、次回は、10 月 3 日 (金) 午後 7 時半から第 4 回統合準備委員会を行いたいと思います。 本日はこれにて閉会いたします。長時間お疲れさまでした。 |